



2024年 3月号
 全国福祉保育労働組合東海地方本部
 〒456-0006
 名古屋市熱田区沢下町9-7
 労働会館東館405
 TEL 052-881-2971/FAX 052-881-2998
 e-mail fukuhotk@gmail.com
 発行責任者/塚本洋平



1面…みんなで良くなる24春闘/2-3面…
 地本委員会発言集/4面…臨パ社保学習会
 fukuhotkで検索

みんなで良くなる24春闘



声を集める方法として
 は、気楽にお茶でも飲む
 ような感じで、困ってい

要求を値切る必要はない！

24春闘では、私たちの労働条件が引き上がり、働きづつら
 れる労働環境になってこそ、子どもや障害のある仲間、高
 齢者の権利保障につながることに確信をもち、『みんなで良
 くなる』をスローガンに要求提出・交渉をすすめています。
 今回は『みんなで良くなる』オルグの様子を取材しました。

2月21日、新瑞福祉分
 会では、書記局西田さん
 がさんか保育園に出張
 し、『24春闘職場闘争の手
 引き』をもとにオルグを
 行いました。新瑞福祉分
 会、6つの事業所があり、
 大所帯の分会です。他の
 事業所はオンラインでつ
 なぎ、多くの参加があり
 ました。

要求を値切る必要はない！
 声を集める方法として
 は、気楽にお茶でも飲む
 ような感じで、困ってい

「要求」については、
 どんなことでもよく、出
 す前に値切る必要はない！
 というアドバイスがあり
 ました。

オルグの後は、事業所
 ごとに要求を出し合う時
 間を持ちました。さんか
 保育園の分会員は、現
 地で5名、Zoomで1名が
 参加しました。

グループに分かれて交流
 1人ずつ、今年度を振り
 返って思いを語りまし
 た。どの人にも共通して
 いたことが、人員不足の
 訴えでした。「みんなが疲
 れている」、「体力的にも
 しんどい」、「体制を組む
 職員の負担が大きい」「休
 み返上での出勤がある」
 「家で夜な夜な書類を書い
 ていた」など、率直な思
 いが語られました。

職場単位での交流は久
 しぶりということで、な
 かなか話す機会がなかつ
 たと聞きました。分会
 で率直に話せる雰囲気
 を感じ、大事なことだと思
 いました。対話をする機
 会があれば、知らなかつ
 た仲間の思いに触れたり、
 聞いてもらえて元気が出
 たり、改善点が見つかる
 こともあると思います。

【編集後記】
 日々、ネットや新聞でニュース
 を見ていると、福祉以外の労働組
 合の仲間が同じように24春闘で要
 求を挙げているのを目にすること
 があります。それを見るたびに、
 場所や立場は違っても、それぞれ
 みんな働き方をよくしたいと声を
 挙げているのだと感じ、力をも
 らっています。それと同時に、も
 し自分が組合に入っていないかつた
 らこの話題は「そうなんだ」と流



〜或る執行委員のつぶやき〜
 私は今年度、2歳児を担当
 しています。0歳児の頃から
 持ち上がっているクラスなの
 で、大きくなったなあと感じ
 ることが多いこの頃。とはい
 え、まだまだだぞとけなさもたつ
 ぶり残るみんなが何気なく発
 する言葉が、最高に可愛くて
 癒しなので、ほんの少し紹介
 させていただきます。
 園庭で遊んでいたときのこ
 と。スコップで砂を掘ってい
 たAくんが、ぱっと手を止め
 て空を見上げ、ほっこり言
 う「スイパン オッキー」…
 え？なに？随分？大きい？…
 空を見て、その感想が出てく
 るあなたは本当に2歳児？と
 疑ってしまいました。いつも
 の空より大きく見えたのでし
 ょうか。真相はわかりませんが、
 私も一緒に青空を見上げ、ズ
 イパン大きいねえと、なんだ
 かとてもほっこりなひと時で
 した。

ペンネーム：MK

地本カルトクイズ

もっと東海地本のことを知ってもらおうと出来たコーナー！
 【第50回のクイズと寄せられたみなさんの回答】
 第1問：あなたの新年の抱負は？
 ・感染症にかからず元気に過ごしたい！安藤さん(まつかぜ分会)
 ・健康の為に自炊レベルをUP！海老原さん(きたちくさ分会)
 第2問：2024年、組合活動で頑張りたいことは？
 ・10年後わらって働ける職場づくり 小川さん(かやの木分会)
 ・正職もパートさんも繋がれる分会 近藤さん(田代分会)
 ・とにかく皆が自分の意見を言えるように 田中さん(かわらまち分会)
 第3問：今回の紙面を読んだ感想をお願いします！
 ・労働組合講座出席者が色々教えてくれた。出てもらえばなし
 ではなく分会で学べる機会にしたい 泉山さん(きたちくさ分会)
 ・愚痴を磨くと要求に！大切にその先に進む 近藤さん(田代分会)
 当選者 今回は5名です。田中真倫子さん(かわらまち分会)
 深谷冬梧さん(めいほく分会)、小川恵さん(かやの木分会)
 野中優姫さん・齋藤桃佳さん(きたちくさ分会)

【今後の重要日程】

- 3/14 終日
みんなでよくなるアクション
- 3/21 10~12:00 予定
チーム・カンガルー@東館5階
- 4/8 19~20:30
支部交流会@地本会議室
- 4/13 9:30~12:30
県民集会～春の学習交流集会
@東館ホール
- 4/20 14~16:30
市政学習会@東館ホール
- 5/1 10~12:00 予定
メーデー@白川公園
- 5/27 中央行動@国会

「年収の壁」って何だろう？

～きちんと知ろう、向き合おう、税と保険のこと～

3月3日(日)愛知県労働組
 合総連合(愛労連)主催のパー
 ト臨時労組連絡会学習会に、東
 海地本の臨パ部会の仲間と一緒
 に参加しました。

愛知県公議場でファイナンシヤ
 ルプランナーの國枝孝幸さんに
 よる「今だから聞きたい税と社
 会保険の話」というテーマでの
 学習会が行われ、その後はグ
 ループ交流会も開かれました。

①年収の壁とは？
 ②年収の壁にかかると？

①では、税金や各社会保険料
 が発生する境目の金額を「年収
 の壁」とし、そこに実際どれだ
 けの負担がかかるのか、講じら
 れている対策についての話を聞
 くことができました。今回の内
 容で出てくる税や保険の名称、
 130万円以上の収入で扶養が外れ
 ること等、それとなく知ってい

②では、社会保険に加入する
 ことが得か？損か？ということ
 を、年齢や立場の違いに分けて
 話がありました。こちらのほうが
 より具体的に、身近に話を聞く
 ことができた印象でした。中で
 も衝撃だったのは、最低賃金20
 27円で30時間働いた場合と、賃
 金アップの1500円で20時間働
 いた場合で収入としてはさほど
 差がないということです。働き
 方を考えた時に扶養内で働こう
 と思うと時間を減らして、生活
 も収入も減ってしまうし、生活
 が回らない。そうならない、さ
 せないためにも、少ない時間数
 でもしっかりと収入を得られる
 ように、そして物価高騰も鑑み
 て、やはり時間あたりの賃金アツ
 プを求める声を挙げていくのは
 必要なことなのだ、と今回改

【参加者の感想】
 年収の壁の問題は昭和の家族
 形態を想定して、今の家族
 の暮らしには合っていないと思
 いました。グループ交流では、
 参加者それぞれの職場の現状が
 話され、今の社会の仕組みその
 ものが大変な状況になっている
 ことがわかりました。年収の壁
 問題は家族単位で考えるから今
 の収入を減らさないようにと考
 えますが、個人として考えると
 もっとすっきりするし、自分の
 生活の先々を考えたらその方が
 大事だと思いました。労働組合
 の役割としては、賃上げでみん
 なの生活を良くしていく事が大
 事だと思いました。
 伊藤登美子
 けやきの木分会



カルトクイズ応募用の
 GoogleフォームQRコード→

第31回地本委員会

第31回地本委員会は、出席地本委員79名、(会場21名、Zoom58名)委任状28通、欠席3名で成立し、すべての議案が全会一致で採択されました。

『みんなで良くなる24春闘』をめざして、全分会で独自要求・統一要求の提出をすすめていきましょう！

スヤチラシを貼ったり、分会があることを知らせてきた。休憩の時も話し要求を拾い上げていきたいと思ってる。アンケートも実施し、57部配布、33部回収し、要求書にまとめている。要求書を出し懇談・団交しながら安心して働き続けられる職場づくりを一緒に考えていきたい。



石川ゆかり
石川ゆかり地本委員
月1回分会会議をしようとしているが、なかなか難しい状況もある。

活動費から補助があつて助かった。今後も活動するときは相談していきたい。

春闘に向けて話しやすい環境を整えることが大切。パート部会に入っていない人の要求も吸い上げて練り上げていきたい。

③こぐま保育園分会
石川ゆかり地本委員
月1回分会

②のぎく保育園分会
鈴木宏子地本委員
のぎく分会

11月「より良く働く」など、いわゆる運動に賃金がつかない。でも、同じ法人内のもう一つの園では、同じ取り組みでも勤務扱いとなっている。それはなぜかと要求しようとなった。また勤続年数15年のお祝い金はあるけれど、リフレッシュ休暇を2日だけでもいいから欲しいと要求することになった。

今年2名が組合に加入。先輩は話しやすい環境

労働組合員 地本委員会



福保労働組合員
内の高齢分野の仲間毎月第3金曜日に交流している。

厳しい勤務体制の中で働いているが、何とか高齢分野に仲間を増やしていきたい。

めいほく高齢部分会では昨年、小規模多機能・グループホーム等を含む新しい事業所で、新たな仲間を誘おうと分会二回



労働組合員
第3金曜日に交流している。

昨年10月に思い切って対面交流がしたい！とパウンドケーキ作りを行った。パート全員に声をかけ、未組織からも2名の参加があつた。予算のところにあったが、材料費がかかったので組織化

境づくり、風通しのよい職場づくりを意識して活動してきたからこそ、「気軽にいろいろ話してみない？」と分会に誘った。「要求」と難しく考えず、「グチを聞こう」からはじめ、そこから要求にまわっている。グチからはじめ、そこからみんなで働きやすい環境にしよう。これからはがんばっていき。

⑤名市大きくらんぼ保育園分会
増村潔地本委員
保育協の中に職場保育所部会(職保部会)があり、職場2分会だが、イキキ働き続けられるよう続けている。

どちらの園も無認可の保育所で、各市大と契約

⑥どんぐり保育園分会
北田遥香地本委員
保育協について発言。

11月に総会を行い方針の確認をした。中央の方を講師に招き、法人のお金



発言前にみんなでストレッチ

3年ごとに、運営先の選定があり、毎回どうなるのか不安。雇用もだが、保育の継続性についても。委託費も十分でなく厳しい。処遇改善計算も法人の努力でつぐが、働き続けても差が出てしまう。無認可の現状を知ってもええらと思つた。

12月の総会方針を建てるうえで悩んだのは、無認可のため公的保育制度に乗っかれてないが「制度改善の運動に積極的に参加する」という文を載せ続けていくのか。でもやっぱり無認可でも公的の制度が土台になる、やっぱりここは省けないと総会で確認。公的の制度の拡充に参加する、それが自分たちの条件も変わる力になることに確信をもち、みんなと一緒に頑張っていきたい。



会方針を建てるうえで悩んだのは、

2月には岡本伸子さんを講師に劇遊のワークショップを未組織も誘って行う。ハイブリットも残しつつ、対面で交流することを大切に年間でも3月には平和部と共に福島原発を知る交流会を企画、夏には自治体交渉、10月にはメソッドヘルスの学習会を行う。働き方のことはもちろん、保育実践も含め「こんなことをしてみたい」と意見を分会からもあげてほしい。困っていることや悩んでいることから出発し、他職場の状況や工夫を共有し、要求していく力になっていきたい。

発言集

④ゆうりん分会 三宅晶地本委員

ゆうりんは緑区の児童養護施設。法人内には、乳児院・自立援助ホーム等があり、最近子ども食堂にも取り組んでいる。1人分会だったが、今年も1人仲間が増えた。2人いることで「組合の頭でものごとを考える」ことができ、元気が出た。



右が三宅さん
左が山内さん

10月に全国の児童養護の仲間と学習交流会があつた。東京はいち早く取り組みがあり、ポリシーをもって働く姿にエネルギーをもらつた。年末に名古屋市交渉も取り組めた。子どもたちは18歳で施設を出たら身寄りがない。施設が「実家として」どうあるか、寄りかかっていない基準、せてくださいと言われた。こういう風に背中を押してくれる人がいる、仲間がいることがうれしいと感じた。

⑦さくらんぼの分会
濱田康作地本委員
障害協は11月30日に総会をおこなった。以前のよう

に総会後に食事をしながら交流もとりくんだ。

総会では、情勢で患の問題(⑩参照)に触れた。自分も仕事で関わっていることもあり、他人ごとではないと感じている。取り組みは、この間Zoom併用で北陸の仲間との交流もしてきた。2月23日には第4回の交流会を石川県で行う。1月にはベル分会の新たな生活介護施設へ出張障害協で行き、未加入の方と交流もできてよかった。



濱田康作地本委員
障害協は11月30日に総会をおこなった。

⑧かやの木分会
保母真理恵地本委員
要求書をつくるにあたって、みんなで集まりたいが、なかなか両園で集まれない現状がある。園ごとの働き方に差がある事も分会の課題。毎年



明日、分会新年会を開き、楽しいこともしながら小さな法人が集まった仲間がひとり一人、その人らしく生き生きと働き続けるためにどうしたらよいか回答をつけてどう感じたか、話しあっていきたい。

⑩めいほく障害部分会
塚本洋平執行委員長
株式会社恵問題補足。

グループホームふわふわで食材費過大徴収が問題になった。8千円の食費しか提供されていないが、2万4千円徴収されていた。他にも身体的虐待、個別支援計画を利用者同意なく作成、職員配置の改ざんも挙がっている。あいされん、愛障協と共同でし、談支援フォームもたちあげ100件ほどの相談が寄せられている。

大元は2005年10月31日障害者自立支援法が施行され「営利追及」の法人が参入できる仕組みになったことが問題。労働組合としてしっかりとこの問題に対峙していく。

51人の子どもが暮らす児童養護施設で、幼保の役割。夜泣きのお世話から思春期の反抗も真向に受け止めます。卒業生もよく顔見せに来ます。私たちは子ども達の小さい頃を知っている親戚のおばちゃん代わりです。大高イオンから車で5分。新築の戸建てがごんごん建ち、ゆうりんに入る道路はギリギリまでお隣の塀。来たばかりのご近所さんに子ども泣き声で通報されないかヒヤヒヤ。ゆうりんは何十年も前からここに居るのに。一緒に働いている山内さんは元商社OLで、スーツにパンプスでエシガントに出社していて、9年前にゆうりん就職するまではスニーカーもリュックも持っていなかったんですって！子どもたちに「やまちゃんってどんな人？」

【シリーズ・名物組合員】 仲間が増えて楽しく活動 ゆうりん分会

と聞いたら「明るい・ポジティブ・楽しそう・元気・雰囲気よくて心地いい・つべこべ言っても話をよく聞いてくれる・しゃべりやすい」と答えがポンポン出ました。うん、そういう子どもをまっすぐに受け止め、保護者には共感と理解と明るいツッコミで返し、話の通じにくい保護者でも「やまちゃんなら」と打ち明け話になります。

私たちの組合活動の目的の1つには、全国の同業者からの情報収集です。国や都の制度と名古屋で実施できる基準が違うので、東京の先進的なやり方・工夫が参考になります。目の前にいる子どもたちの幸せを求めて元気に働きます！



機関紙編集委員より
引き続き、風光の分会での読み合わせを。